



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 東洋ビジネスエンジニアリング株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4828 URL http://www.to-be.co.jp  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 石田 壽典  
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 業務管理本部長 (氏名) 片山 博 (TEL) 03-3510-1600  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,728	5.4	331	89.3	315	89.4	170	94.8
25年3月期第3四半期	8,278	△8.3	175	31.7	166	46.6	87	210.6

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 170百万円( 94.8%) 25年3月期第3四半期 87百万円( 224.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	28.48	—
25年3月期第3四半期	14.62	—

(注) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,579	2,924	52.4
25年3月期	5,010	2,875	57.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,924百万円 25年3月期 2,875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
26年3月期	—	7.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 記念配当 5円00銭

当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたしました。そのため、平成25年3月期については、当該株式分割前の実績を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,400	8.8	400	10.8	420	18.6	240	34.8	40.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	6,000,000株	25年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	474株	25年3月期	474株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	5,999,526株	25年3月期3Q	5,999,526株

(注) 当社は、平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたしました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数 (自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数 (四半期累計) を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記予想に関連する事項につきましては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な国内需要や持ち直し傾向にある輸出を背景に、景気は緩やかに回復しております。

情報サービス産業におきましては、顧客の情報化投資姿勢は総じて慎重なまま推移しておりますが、大企業製造業の一部に情報化投資が持ち直す動きが見られます。

このような状況のもと、当社グループは顧客満足度の更なる向上を図るため、技術力を基盤としたプロジェクトマネジメント力とコンサルティング力の活用による高付加価値サービスの提供に努めました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は9,347百万円（前年同四半期比9.7%増）、売上高は8,728百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。利益面につきましては、営業利益は331百万円（前年同四半期比89.3%増）、経常利益は315百万円（前年同四半期比89.4%増）、四半期純利益は170百万円（前年同四半期比94.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ①ソリューション事業

他社開発ERPパッケージ製品をベースとしたコンサルティング、システム構築につきましては、顧客ニーズを捉えた積極的な提案活動に努めるとともに、顧客のグローバル展開支援や情報の可視化を図る複合型ソリューションの提供を推進し、着実なプロジェクトの遂行に努めました。また、製造管理の短期導入ソリューションの開発やデータ管理分野における有力パートナーとの協業を進め、顧客の課題解決力の強化に取り組みました。当セグメントの受注高は6,084百万円（前年同四半期比5.0%増）、売上高は5,644百万円（前年同四半期比2.7%増）となりました。

## ②プロダクト事業

自社開発ERPパッケージ「MCFrame」および「A.S.I.A.」につきましては、顧客・ビジネスパートナーとの関係強化に注力し、ライセンス販売の更なる拡大に邁進いたしました。ライセンス売上高は過去最高を更新し、1,167百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。また、海外拠点向けに「MCFrame」の短期導入を可能とする製品の提供開始や、クラウド分野における有力パートナーとの協業強化など、顧客のグローバル展開支援の遂行力向上に取り組みました。当セグメントの受注高は2,958百万円（前年同四半期比18.3%増）、売上高は2,743百万円（前年同四半期比9.2%増）となりました。

## ③システムサポート事業

東洋ビジネスシステムサービス株式会社が展開する運用・保守等のシステムサポート事業につきましては、引き続きシステムのライフサイクルサポートの充実に努めました。当セグメントの受注高は303百万円（前年同四半期比31.7%増）、売上高は341百万円（前年同四半期比27.4%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産の部)

流動資産につきましては、仕掛品の増加等により、前連結会計年度末と比較して534百万円増加し、3,831百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の総資産に占める流動資産の比率は68.7%であります。

また、固定資産につきましては、有形固定資産の取得による増加等により、前連結会計年度末と比較して34百万円増加し、1,748百万円となりました。

これらの結果、資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末と比較して568百万円増加し、5,579百万円となりました。

## (負債の部)

負債の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、短期借入金の増加等により、前連結会計年度末と比較して520百万円増加し、2,655百万円となりました。

## (純資産の部)

純資産の部の当第3四半期連結会計期間末残高は、四半期純利益を計上したことによる増加、剰余金の配当による減少により、前連結会計年度末と比較して48百万円増加し、2,924百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末と比較して5.0ポイント減少し52.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は平成25年10月31日公表の予想値より変更ありません。

なお、当社グループの業績特性としましては、受注案件の納期が各四半期末に集中する傾向があり、特に第2および第4四半期末にはこの傾向が一層顕著となります。このため、各四半期毎に業績は変動し、特に第2および第4四半期に大きく変動します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	541,617	605,037
受取手形及び売掛金	1,916,971	2,023,371
仕掛品	223,378	712,536
その他	614,797	490,353
流動資産合計	3,296,763	3,831,298
固定資産		
有形固定資産	105,605	149,137
無形固定資産		
ソフトウェア	1,170,034	1,167,726
その他	477	172
無形固定資産合計	1,170,511	1,167,898
投資その他の資産		
その他	443,395	436,918
貸倒引当金	△5,499	△5,499
投資その他の資産合計	437,895	431,418
固定資産合計	1,714,013	1,748,455
資産合計	5,010,777	5,579,753
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	246,773	243,850
短期借入金	300,000	1,000,000
未払法人税等	93,165	62,291
前受金	478,990	383,791
賞与引当金	496,494	202,479
品質保証引当金	17,854	18,468
その他	502,324	744,813
流動負債合計	2,135,601	2,655,695
負債合計	2,135,601	2,655,695
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	697,600	697,600
資本剰余金	426,200	426,200
利益剰余金	1,751,543	1,800,427
自己株式	△168	△168
株主資本合計	2,875,175	2,924,058
純資産合計	2,875,175	2,924,058
負債純資産合計	5,010,777	5,579,753

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	8,278,550	8,728,896
売上原価	5,886,766	6,138,101
売上総利益	2,391,783	2,590,795
販売費及び一般管理費	2,216,758	2,259,435
営業利益	175,025	331,360
営業外収益		
為替差益	—	1,564
その他	169	274
営業外収益合計	169	1,839
営業外費用		
支払利息	4,651	4,838
株式公開費用	—	12,000
持分法による投資損失	3,861	—
為替差損	117	—
その他	141	1,229
営業外費用合計	8,772	18,068
経常利益	166,422	315,131
特別利益		
固定資産売却益	6	—
投資有価証券売却益	—	327
特別利益合計	6	327
特別損失		
固定資産売却損	152	—
固定資産除却損	1,259	2,504
事務所移転費用	9,879	—
特別損失合計	11,291	2,504
税金等調整前四半期純利益	155,137	312,954
法人税等	67,414	142,080
少数株主損益調整前四半期純利益	87,723	170,873
四半期純利益	87,723	170,873

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	87,723	170,873
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	87,723	170,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,723	170,873
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。